

取扱説明書（保証書）

電波デジタル
クロック

取説番号：HT-051RC-A

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、
必要に応じてご覧ください。

保証書

製品型番	無効無効無効無効
お買い上げ日	※保証期間は お買い上げ日より1年間です。
お客様氏名	無効無効無効無効
お客様住所	無効無効無効無効
ご連絡先電話番号	無効無効無効無効
販売店	無効無効無効無効

お客様専用ダイヤル

042-703-8310

土日祝日を除く
平日10：00～12：00・13：00～17：00

アフターサービス	〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1
----------	----------------------------------

発売元 保土ヶ谷電子販売株式会社

製品仕様	
受信電波	長波JJY（標準電波） 40kHz/60kHz自動切替式
自動受信回数	1日最大5回（AM1:00、2:00、3:00、4:00、5:00） ※午前3時の時点で一旦受信を成功すると、翌日の受信時刻まで受信しない
時間精度	受信していない時、 平均月差約±30秒以内（25℃以下使用の場合）
時刻表示	12/24時間制（表示切替可）
カレンダー表示	2000年1月1日～2099年12月31日
使用温度範囲	-10℃～+50℃
温度計表示範囲	-10℃～+50℃ （-10℃より低温の場合、LL.Lを表示、 50℃を超える場合、HH.Hを表示）
温度計精度	±3℃
湿度計表示範囲	20%～95% （20%未満の場合、LLを表示、 95%を超える場合、HHを表示）
湿度計精度	±8%
アラーム精度	セット時刻に対し±0分以内
スヌース作動間隔	約5分
アラーム音	電子音
使用電池	単3乾電池2本（アルカリ電池推奨）
電池寿命	1年（アルカリ電池使用時）
その他付属機能	光センサー式自動点灯、バックライト、 手動時刻設定機能、強制受信機能、 表示切替機能（時刻↔温湿度）

- セット内容
時計本体、取扱説明書/保証書 ※電池別売

保証・アフターサービス

- この製品はメーカー保証です。保証の内容については下記をよくご覧ください。本製品の保証ならびにアフターサービスは、日本国内においてのみ有効です。海外での保証・アフターサービスは行っておりません。
- 保証期間中、保証規定に基づいた修理品はお買い上げ店が預かりし、メーカーが無償で修理致します。必ず販売店名捺印の保証書または購入証明書を添えて修理をご依頼ください。
- 保証期間中でも無償修理の対象とならない修理品、および保証期間終了後の修理品は、ご希望により有償で修理を承ります。
- 修理が可能な期間は、修理内容により異なります。また、修理が可能な場合でも規定の精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼ください。
- 修理の際、部品・その他すべての付属品は、一部代替部品を使用させていただく事もありますのでご了承ください。
- 保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他にお買い上げ店と修理窓口との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にてご負担願います。修理代金が標準小売価格を上回る場合がありますので、お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼ください。
- 保証期間中、終了後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込み願います。修理を依頼される際はお買い上げ店にご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となりますのでご了承ください。

- 本保証書のご提示がない場合。
- 本保証書に販売店およびお買い上げ日の記入が無い場合。
- または、字句を書換えられた場合。
- 誤ったご使用、不注意、不当な修理・改造、火災、天災地変による故障や損傷。
- ご使用中に生じる外観上の変化（フレーム・ガラス・その他付属品のキズや変色等）

安全上のご注意 ※必ずお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

絵表示の例

⓪・・・してはいけない「禁止」の行為を示す表示です。

❶・・・必ず実行していただく「強制」を示す表示です。

警告

※この表示と異なる誤った扱いをすると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋はお子様か遊ばないように手の届かない所に保管または破棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

電池は分解、加熱、火の中に入れたりしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師とご相談ください。

電池が液漏れした場合は、液に触れないでください。万一、電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、目に入ったときには失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

注意

※この表示と異なる誤った扱いをすると、傷害を負う可能性又は物的損害の発生する可能性が想定される内容です。

分解したり改造をしないでください

火災、感電、ケガの原因となります。

設置場所について

- 温度が50℃以上になる所（長時間直射日光が当たる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所など）
- 温度が-10℃以下になる所
- 静電気が発生する所
- 強い磁気や振動のある所
- 多量の油分や薬品等による揮発性物質やガスが発生する所
- 不安定な所
- 屋外
- ほこりや浴室などの湿気の多い所

本体取り扱い・保管について

落としたり、強くぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

保管する際は、幼児の手の届かない所に保管してください。

本製品は医療用・業務用ではありません。日常生活での室内の温度・湿度を測定する目的でご使用ください。

商取引や、温度を公に証明する場合には使用しないでください。

温度または湿度の誤差等による二次的な損害等に対して、弊社は一切の責任を負えないことをご了承ください。

電池の取り扱いについて

電池を誤使用すると液漏れ、発熱、破損の恐れがあります。

- ＋（プラス、マイナス）を逆さに入れないでください。
- 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池と一緒に使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行なうと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計を使わない時は電池を外してください。電池を入れたままだておきますと、電池の液が漏れて時計やその周辺を傷めたり人に危害を与える場合があります。

電池交換時は、すべて新しい電池を使ってください。電池から液が漏れていないかを念のためご確認ください。

製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新しい電池と交換してください。同一の電池を長期間ご使用になりますと、電池の液が漏れて電極やその周辺が腐食することがあります。

オキシライド電池、二次電池（充電式電池）は、時計のような低電圧を連続的に使用する製品で使用した場合、アルカリ電池に比べて電池寿命が短くなる、適正に動作しないなどの不具合が生じる恐れがありますので使用しないでください。

- この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。
- 印刷による制限のためこの取扱説明書中の図が実際の表示と異なることがあります。
- この製品によって生じたいがなる支出、損益、その他の損失に対してもなんら責任を負いません。
- この取扱説明書を発売元の許可無くして変更・複製することを禁じます。

こんなときには

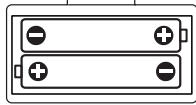
- 電池を入れ、秒表示がカウントを始めたものの、14分以上たっても正しい時刻を表示しないとき
 - 電波受信の状態が不調です。別の位置に移動するか（できれば窓の近くで表示部又は、裏面を送信所方向に向ける）、考えられる障害物（テレビ・家電機器など）から離れた場所（約2m位）で、電池を約1分間はずした後、再セットして一昼夜様子をみてください。
 - ※送信所は「電波時計について」をご確認ください。
- 時刻信号をキャッチし、液晶表示が正常な動きをしているにもかかわらず、現時刻と違った表示をしているとき
 - 雷等の自然現象や、その他電波ノイズ・電波障害により誤った電波信号を受信している可能性があります。場所を変え、強制受信させてください。
- 時刻が表示されない、薄く表示されている、表示が異常なとき
 - 電池の（+）（-）が間違えてセットされている場合があります。また新旧の電池を使用しているなど、電池の電圧が低下している状態が考えられます。再度、電池をご確認ください。
- 受信環境の良い場所がみつからず、すぐに時計を使用したいとき（受信をさせてもアンテナマークが点灯しないとき）
 - 通常時計表示画面のときに、「時刻合わせ」ボタンを長押しすると「手動時刻セット」モードとなりますので、手動で時刻を合わせてから、受信環境が良いと思われる場所に置いてください。自動電波受信機能によって1日最大5回受信を行います。受信環境がよくなれば、標準時刻電波を受信して正しい時刻が表示されます。※受信環境は時刻、周辺の状況、天候により変化します。
- 他の温湿度計と比べ、温度・湿度がずれる
 - 他の機種とご置き場所の違い、センサーの種類、精度、誤差や位置の違いにより表示温度・湿度に差が出ることがあります。特に直射日光やエアコン等の風が直接当たる場所ですと、正確な数値を検出できない場合があります。

各部の名称

■ 本体正面



電池カバーを開けた図



※ (+) (-) の方向を正しく入れてください。

ご使用方法とご注意

■ 時計を設定する

電池を入れます。(アルカリ電池推奨)

- ① 電池BOXの表示に従い、電池の (+) (-) 方向を間違えないように (-) 側から完全にはめ込んでください。

注 意

- (+) (-) を逆に入れますと本製品は動きません。又、故障の原因になります。

- ② 電源が入ると全画面表示され、同時にバックライトが数秒間点灯し、電子音が鳴った後、初期受信を開始します。

※受信中は 電波マークが点滅し、受信している周波数 (40または60) が表示されます。

※受信開始から受信完了まで、最長で約14分かかります。
※電波受信中は「戻る/受信」ボタンと「SNOOZE/LIGHT」ボタン以外のボタンは無効となります。

※受信を中止させる場合は、受信中に「戻る/受信」ボタンを電波マークが消えるまで (1回または2回) 押すと受信を強制的に終了させます。

- 受信に成功すると電波マークが点滅から常時表示に変わり受信した時刻を表示します。

- 受信できなかった場合は、電波マークが消え、自動受信を行う前の時刻を表示します。「受信しづらい、誤った時刻を表示した場合」をご参照ください。

■ 自動電波受信機能

- 自動電波受信とは、あらかじめプログラムされている時刻になると、自動的に受信動作を行い、自動で時刻を修正することを言います。この時計で1日最大5回 (AM1:00、2:00、3:00、4:00、5:00) 行います。

※AM3:00の時点で一旦受信成功すると翌日の受信時刻まで受信しません。

■ 自動電波受信以外で受信させる (強制受信)

- 任意に電波受信させる機能です。「戻る/受信」ボタンを長押しすると、強制受信を始めます。
※受信を中止させる場合は、受信中に「戻る/受信」ボタンを 電波マークが消えるまで (1回または2回) 押すと受信を強制的に終了させます。
- 受信に成功した場合、受信した時刻を表示します。
- 受信できなかった場合は、電波マークが消え、自動受信を行う前の時刻を表示します。「受信しづらい、誤った時刻を表示した場合」をご参照ください。

受信しづらい、誤った時刻を表示した場合は

- ① 夜間は昼間と比べて電波ノイズが減少し、電波受信状況が良くなるため、一昼夜そのままにして様子を見てください。
※1日に最大5回の電波受信を行います。
- ② 後記「使用場所について」をご確認いただき、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度上記1～2を行い、再度受信を行ってください。

■ 手動で任意の時間を設定する

- ① 「時刻」ボタンを長押ししてください。
- ② 「時」が点滅します。「進む/ON OFF」ボタンまたは「戻る/受信」ボタンで「時」をセットし、「時刻」ボタンを押してください。
- ③ 「分」が点滅します。「進む/ON OFF」ボタンまたは「戻る/受信」ボタンで「分」をセットし、「時刻」ボタンを押してください。
- ④ 「秒」が点滅します。「進む/ON OFF」ボタンまたは「戻る/受信」ボタンを押すと0秒表示となります。「時刻」ボタンを押してください。
- ⑤ 「年」が点滅します。「進む/ON OFF」ボタンまたは「戻る/受信」ボタンで「年」をセットし、「時刻」ボタンを押してください。
- ⑥ 「月」が点滅します。「進む/ON OFF」ボタンまたは「戻る/受信」ボタンで「月」をセットし、「時刻」ボタンを押してください。
- ⑦ 「日」が点滅します。「進む/ON OFF」ボタンまたは「戻る/受信」ボタンで「日」をセットし、「時刻」ボタンを押すと時間とカレンダーの設定は終了となります。

※設定時に「進む/ON OFF」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ増加し、2秒以上長押しすると早送りができます。
※設定時に「戻る/受信」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ減少し、2秒以上長押しすると早戻しができます。
※曜日は設定された日にちによって自動的に変更されます。
※約20秒ボタン操作が無い場合、設定モードは自動的に終了し、設定値が保存されます。
※手動で設定された場合、電波マークは表示されません。

■ 12/24時間制の設定をする

- 通常時間表示画面で「時刻」ボタンを1回押すと、12/24時間制の切り替えができます。

■ アラームを設定する

- ① 通常時間表示画面で「アラーム」ボタンを長押しします。アラーム時刻の「時」が点滅します。
- ② 「進む/ON OFF」ボタンまたは「戻る/受信」ボタンで「時」をセットし、「アラーム」ボタンを押してください。
- ③ 「分」が点滅します。「進む/ON OFF」ボタンまたは「戻る/受信」ボタンで「分」をセットし、「アラーム」ボタンを押すと、アラーム時刻の設定は終了となります。

※「アラーム」ボタンを1回押すと、設定されているアラーム時刻が確認できます。
※設定時に「進む/ON OFF」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ増加し、2秒以上長押しすると早送りができます。
※設定時に「戻る/受信」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ減少し、2秒以上長押しすると早戻しができます。
※約20秒ボタン操作が無い場合、設定モードは自動的に終了し、設定値が保存されます。

■ アラームのON/OFFを設定する

- 「進む/ON OFF」ボタンでアラームのONとOFFを設定できます。
- ※ アラームがONの場合、アラームマークが表示されます。
- アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと止まります。
- ※ アラームマークが表示されていると、翌日以降も設定時刻にアラームが鳴ります。

■ スヌーズ機能について

- アラームが鳴っている間に「SNOOZE/LIGHT」ボタンを押すと、アラームが一旦止まり、約5分後に再び鳴り出します。
※ スヌーズ起動中は 2 スヌーズマークが点滅表示されます。
※ 何も操作しないと、5分後にアラームが止まります。
- スヌーズを解除する場合は、時計本体正面のいずれかのボタンを押してください。

■ 温湿度計について

- 温度が-10℃より低温の場合は、LL.Lと表示され、50℃を超える場合は、HH.Hと表示されます。
- 湿度が20%未満の場合は、LLと表示され、95%を超える場合は、HHと表示されます。

■ 表示切替について

- 「表示切替」ボタンを押す毎に現在時刻表示と温度湿度表示の画面を切り替ええます。

■ 光センサー式自動点灯について

- 「光センサーON/OFF」スイッチをONにすると光センサーが作動し、周囲が暗くなるとバックライトがほんのりと点灯します。

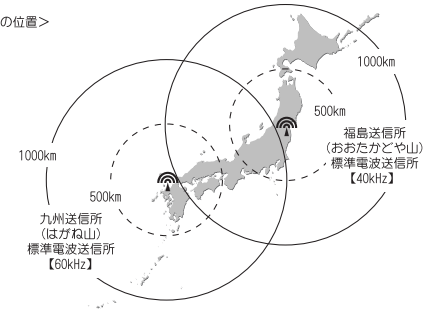
■ バックライトについて

- 「SNOOZE/LIGHT」ボタンを押すと、液晶画面のバックライトが約5秒間点灯します。

電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。
標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、福島県の「おおたかどや山 (40kHz)」と、福岡県と佐賀県の県境のはがね山 (60kHz) の2か所から送信されています。これらの電波は条件の良い時は発信所から1.000～1.200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・置き場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合がございます。その場合はクォーツ時計として製品仕様に記載された精度で作動します。

<送信所の位置>



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。
独立行政法人情報通信研究機構 <https://www.nict.go.jp/>
日本標準時プロジェクト <https://jjy.nict.go.jp/>
※送信設備のメンテナンスにより電波が停波される場合がございます。
※上記のURLは予告なく変更される場合があります。

使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際は出来るだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。

標準時刻電波は、国によって周波数、時刻信号の内容が異なりますので海外では電波時計としては使用できません。又、日本と時差のある諸外国で使用する場合、まれに日本表示時時刻電波を受信して、日本の時刻を表示する場合があります。

